

参加者
募集!!

「環境公開授業」

参加費無料
要申込

主催：法政大学 多摩環境委員会

法政大学では、教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じ、地球環境との調和・共存と人間的豊かさの達成を目指し、全学挙げてグリーン・ユニバーシティの実現に積極的に取り組んでいます。多摩キャンパスにおいても2004年度に多摩環境委員会を設置し、グリーン・キャンパス創造計画に基づいた様々な活動を行ってきました。

今年度の公開授業として、学生（他学部学生を含む）・卒業生・近隣住民の方々を対象に下記のとおり公開授業を行います。多数の参加をお待ちしております。



「えこびん」 法政大学のキャラクター
環境問題を解決するため、世界を舞台にさまざまな活動をしているウサギです。

	日時・時限	担当教員・授業内容（テーマ）	実施方法
①	11月25日（月）	経済学部教授 藤田 貢崇『物理学 B』 ・「福島第一事故と廃炉作業、および柏崎刈羽原子力発電所の安全対策について」 東京電力福島第一原子力発電所では、廃炉の作業が行われ、2023年8月からALPS処理水の海洋放出、2024年には燃料デブリの試験的な取り出しが始まっている。昨年度の公開授業時に質問の多かった、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策についても解説する。これらの作業の現状について、東京電力ホールディングスのリスクコミュニケーターが講演する。	オンライン (オンデマンド視聴) 11/25～12/2 まで 配信（視聴可）
②	11月27日（水） 9:20～11:00 (1時限)	経済学部教授 山崎 友紀『地球環境論 B』 ・「食品問題と環境」 身近な食品に関する話題として、食品添加物、残留農薬、食品廃棄物（食品ロス）などについて取り上げ、その現状の詳細と問題点について紹介し、私たちにできる解決策について議論を深める。	オンライン (リアルタイム配信)
③	11月27日（水） 17:20～19:00 (5時限)	社会学部教授 鞠子 茂『エネルギー論』 ・「原子力発電の現在過去未来」 1950年代にはじまる原子力の平和利用の歴史を紹介するとともに、福島原発事故にも触れ、これからの利用の在り方について考えて行く。また、夢の核融合発電の可能性についても、最新の成果を紹介しながら解説する。	対面 社会学部 B 棟（低層棟）202 教室

参加費用

無料

申込方法

事前予約制となりますので、下記フォームよりお申込ください。※事務局より URL など情報をお知らせします。

<https://forms.gle/ju2zW5iB3N5duYPB9>

申込締切

11月18日（月）

問合せ先

法政大学多摩キャンパス 多摩事務部多摩事務課総務担当

・TEL 042-783-2060

・FAX 042-783-2043

・E-mail : tamasomu@hosei.ac.jp

